

階層別OJTスキル チェックシート

階層	チェック項目	備考
部長職	☐ 「部長が行う部下指導」とは何か理解している （人材育成において部長と課長は何が違うのか？） ☐ 部長として“組織論（あるべき組織の姿）”を持っている ☐ 各階層に必要な役割・スキルが理解できている ☐ “課長の育て方”について方針がある	
ベテラン向け 課長／係長	☐ 「課長が行う部下指導」とは何か理解している ☐ 自部門に必要な人材像や不足しているスキルのイメージがある ☐ OJTの意義を理解し、ティーチングとコーチングのスキルを駆使して「OJTトレーナー」を育てることができる ☐ OJTにおける自身の役割を、メンバーに理解させることができる ☐ トレーナーである部下のフォローができる	
中堅	☐ 育成計画を立てることができる ☐ 人材育成はPDCAであると理解できている ☐ ティーチングとコーチングの違いが理解できている ☐ OJTの協力者を用意している ☐ トレーニーが将来的にやりたいことや何に喜びを感じるか等、興味・関心をもっている ☐ トレーニーが今の業務に不満を持っている場合、今の仕事がいかに“将来につながっているか”を「理」と「情」を用いて伝えることができる（シナリオ構築力も必要）	
若手社員	☐ 「OJT」とは何か理解できている ☐ 自分の仕事を体系化できている （仕事の仕方や判断基準、組織の暗黙知を理解している） ☐ ティーチング（仕事の教え方・フィードバックの手順）を理解している ☐ OJTの協力者を知っている ☐ トレーニーが将来的にやりたいことや何に喜びを感じるか等、興味・関心をもっている	

今まで実施してきた育成施策（階層別研修やOJTの取り組み）をレビューし、最適なプログラムを貴社向けに設計することも可能です

階層別OJT概念図

本プログラムは「**計算された教育**」を共通のテーマとし、管理職層の作成したスキルマップや教育スローガンを、他階層に展開する点が特徴的です。

全階層で実施することで、一気通貫の組織教育を可能とし、教育効果の向上と拡大を実現します。

階層	コンセプト
部長向け	テーマ: 計算された教育で強い組織に改造する ＜主な内容＞ ・計算された組織づくり ～組織図の作成 ・自社の未来を見据えたスキルマップづくり ～教育スローガンの策定 ・課長育成計画作成
ベテラン向け 課長／係長	テーマ: 現場目線で部門の成果を最大にする ＜主な内容＞ ・スキルマップ、育成計画作成 ～準備・継続・計算のOJT ・指導の仕方、部下とのコミュニケーション ・管理職としてのセルフプロモーション
中堅向け	テーマ: 組織全体の視点から個へのアプローチ法を学ぶ ＜主な内容＞ ・業務プロセス分解とスキル表の作成 ・指導の仕方、メンバーとのコミュニケーション ・育成計画作成
若手向け	テーマ: 初めての後輩指導に準備する ＜主な内容＞ ・これまでの振り返りと仕事の本質の再確認 ・初めて教える後輩に教えたことの洗い出し ・教え方の習得



部長の行う教育と、課長の行う教育は、権限や裁量の違いから、求められる目線や実施すべき内容が異なります。
また、経験や周囲からの期待が異なる中堅社員と初めて指導を行う若手社員も、それぞれ行うべきOJTは違うのです。